

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

世界ダンススポーツ連盟会長 ニューイヤーメッセージ

第43回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

WDSF世界選手権 ジュニアⅡラテン&シニアⅠラテン

ねんりんピック愛媛ダンススポーツ交流大会



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation



New Year's Message 2024

Dear JDSF Officials and Members,

On behalf of everyone at the World DanceSport Federation and the DanceSport community worldwide, I want to wish your nation a speedy recovery following the earthquake that struck Japan on New Year's Day. Our thoughts remain with everyone affected by the quake.

These are unquestionably busy times for the global DanceSport family as we work around the clock to make sure everything is in place for a spectacular Olympic debut for Breaking at the Olympic Games Paris 2024.

Japanese Breakers stand an excellent chance of reaching the podium in Paris. B-Boy Shigekix qualified last year to participate at the Olympic Games, and a Japanese B-Girl is highly likely to join him when the final qualification spots are decided at this year's Olympic Qualifier Series (OQS) in Budapest and Shanghai.

When our turn in the Paris 2024 spotlight finally begins, I have no doubt that our B-Boys and B-Girls will capture the hearts of sports fans around the world. This is our moment to shine and we will do everything we can to make the most of this opportunity.

I would like to thank the JDSF for your continued support and commitment to all DanceSport disciplines. This of course includes Latin and Standard. Last year saw our community truly return to the heights we enjoyed prior to the onset of the COVID-19 pandemic. This bodes well for even better things to come in 2024, and I for one cannot wait to see your dancers competing against the very best at this year's leading competitions around the world.

Our Latin and Standard couples have not missed a beat in the last few years, and the talent on display at last year's WDSF World Championship is proof that the competition level is the highest it has been for many years.

We always enjoy our time in Japan when the international competition calendar brings us to your country, and this year we are already looking forward to the Tokyo Open in May, with many other events set to follow.

Thank you again for everything you do for DanceSport in Japan and around the world. Let us continue working together in the service of our dancers and to ensure the success of this historic year for DanceSport.

JDSFの役員および会員の皆様へ

世界ダンススポーツ連盟および世界のダンススポーツ界を代表し、元旦に日本を襲った地震（能登半島地震）からの一日も早い復興をお祈り申し上げます。この地震で被災された皆さまのことを心よりお見舞い申し上げます。

2024年パリオリンピックでブレイキンが華々しいオリンピックデビューを果たすために、私たちは24時間体制で取り組んでいます。

日本のブレイカー（選手）たちは、パリで表彰台に上る素晴らしいチャンスを手に入れています。昨年、B-BOYのShigekix（半井重幸）がオリンピック出場権を獲得し、今年のブダペストと上海で開催されるオリンピック予選シリーズ（OQS）で最終出場枠が決まると、日本のB-Girlが彼に加わる可能性が高くなります。

2024年パリ大会のスポットライトを浴びる番がいよいよ始まる時、私たちB-BOYSとB-GIRLSが世界中のスポーツファンの心をとらえることは間違いありません。今が私たちの輝く瞬間であり、WDSFはこの機会を最大限に生かすために全力を尽くします。

JDSFのすべてのダンススポーツ種目に対する継続的な支援とコミットメントに感謝します。もちろん、これにはラテンとスタンダードも含まれます。昨年、私たちダンススポーツ界は、COVID-19のパンデミック以前の状態に戻ってきました。2024年には、さらにより良い状態になることが期待されます。今年世界各地で開催される主要な大会で、最高のダンサーたちが競い合う姿を見るのが待ち遠しい限りです。

私たちのラテンとスタンダードのカップルが、昨年のWDSF世界選手権で披露したように、彼らの競技レベルは、ここ数年で最高であることを証明しています。

今年も5月の東京オープンをはじめ、多くの大会の開催を楽しみにしております。日本と世界のダンススポーツのために行っているすべてのことに、あらためて感謝します。本当にありがとうございます。

これからもダンサーのために、そしてダンススポーツの歴史的な一年を成功させるために、共に力を合わせていきましょう。

ショーン・テイ
WDSF会長

Shawn Tay
WDSF President



Sport in the
Olympic programme

訳文（一部追記）鶴崎清貴JDSF国際本部長

第43回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権 第6回三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権

2023年10月21日(土)・22日(日)／東京体育館

三笠宮杯は、1980年(昭和55年)、故三笠宮崇仁親王が旧日本アマチュアダンス協会(JADA)総裁にご就任いただきましたことを記念してご下賜されました。記念すべき第1回三笠宮杯は、「'81テンカップ」として故三笠宮崇仁親王、百合子妃殿下のご臨席のもとで開催されました。その後、三笠宮杯は、コロナ禍にあっても毎年欠かさず開催され、日本全国の予選を勝ち抜いたトップ選手による選抜競技会となり、名実ともにダンススポーツ競技の頂点となる全日本選手権として脈々と歴史を積み重ねています。今回は6年ぶりに東京オリンピック使用会場としてリニューアルされた東京体育館において開催されました。

また、今回の三笠宮杯からはPD部門(プレミア ディビジョン)においても絶対評価審判方式が採用となりました。



グランドセレモニー 選手入場



主催者を代表して布村幸彦JDSF会長の挨拶

6年ぶりに東京体育館で開催できたことは大きな喜びであり、大会関係者各位のご尽力に心から感謝いたします。今大会は、ダンスファンの皆様、選手の皆様にとっても喜んでいただけるものと思います。来年に迫った2024パリ五輪ダンススポーツ-ブレイキン(ブレイクダンス)競技は、出場を決めたShigekix(半井重幸)選手など日本選手の活躍が楽しみです。ダンススポーツは2028年長野国体(国民スポーツ大会)から公開競技となりますが、さらに正式競技を目指します。三笠宮杯、日本のトップレベルの選手の最高のパフォーマンスは、本日も観客の皆様にも感動と興奮を与えられるものと思います。



開会宣言 渡辺英美
大会実行委員長



競技上の諸注意 星野晴信
チェアパーソン(競技部長)

ダンススポーツはダイナミックな美しさを競う競技スポーツとして、また、体力向上や健康増進のための生涯スポーツとして幅広い年代に親しまれ、長年の発展を遂げて来られました。国内のトップ選手が鎧を削り、頂点を目指す姿は、多くの方々に勇気や感動をもたらすとともにスポーツの素晴らしさを力強く伝えてくれるものと確信しております。



盛山正仁文部科学大臣



西田実仁参議院議員
(公明党参議院会長)

ダンスをやったことはありませんが、今日拝見して、心が打ち震える感動を覚えました。ダンススポーツの益々の発展と大会の大成功を心から祈念申し上げます。



村井英樹衆議院議員
(自民党、内閣官房副長官)

ダンススポーツは美しさと技を競うスポーツであり、大会がかくも盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ご来賓の皆様



ロチャース
太田順康社長(中央)▼

(株)バルカー瀧澤利一会長(中央)と4名の執行役員がご来場。貴賓室で山田淳副会長、中道俊之専務理事と歓談されました。



盛山正仁文部科学大臣(左から3人目)、右隣は布村JDSF会長貴賓室では、「ダンスは私も家内も1級の腕前、なんでも踊れますよ」と、気さくに歓談されていました。



三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権 スタンダード

勝ったり負けたりライバル大西組と小嶋組。今シーズンの直接対決は小嶋組の3勝でしたが、国内最高峰の三笠宮杯は大西組が僅差で優勝を飾りました。



第3位

Tudor Andrei・吉川あみ組
(東京都)



準優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組
(神奈川県)



優勝

大西大品・大西咲菜組(富山県)

一年の集大成である三笠宮杯でベストパフォーマンスができ、その結果の優勝なので嬉しいですね。今年は全てのグランプリのスタンダードでは悔しい思いをしたので、少しホットしています。最近、自分たちがどのように踊りたいかを見つめ直し、それを素直に表現することを心掛けています。海外の競技会に出場する機会が増え海外選手から刺激を受けることも踊りの糧になっていると思います。



第6位

中村エドワード・中村エリザベス永理組
(ブルボンDST)



第5位

海老原竜太・尾身菜月組
(千葉県)



第4位

守屋 駿・盛田舞香組
(神奈川県)



優勝

三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権 ラテン

昨年の三笠宮杯は欠場でしたが、今大会もダンススポーツ競技の第一人者として最高のダンスを披露し、ラテン5種目すべてに1位を獲得しました。

藤井創太・中村安里組(千葉県)

優勝は何回しても嬉しい(藤井・中村組で2年ぶり2回目の優勝、藤井選手は合計6回目の優勝)。今日は久しぶりの競技会だったので、踊る感覚がとても楽しかったです。今日はいつもより切羽詰まった感じがなく、楽に踊ることができました。大会を重ねるごとに自信を持って自分達の踊りを見せられるようになったと思います。皆さんにも楽しんでもらえるダンスを目指し、これからも踊り続けていきます。



第6位

高橋海・榮岩由莉那組
(千葉県)



第5位

今西竜矢・今西心菜組
(ブルボンDST)



第4位



第3位

海老原拳人・タカギルナ組
(千葉県)

Tudor Andrei・吉川あみ組
(東京都)



準優勝

大西大品・大西咲菜組(富山県)

毎日新聞社杯 全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル

Standard

- 優勝 福原聖太・土屋海音組(埼玉県)
- 準優勝 藤枝修也・林 日和組(埼玉県)
- 第3位 足立博海・李徐えん組(千葉県)
- 第4位 吉岡裕太・奥秋るか組(山梨県)
- 第5位 水田悠斗・大塚千菜組(京都府)
- 第6位 渡邊詠仁・神戸 咲組(山梨県)



優勝



三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権 スタンダード

オレクシーグザー・太田更圭子組(リズメディア)

今年も優勝できてとても嬉しいです(三笠宮杯8連覇)。新しくなった東京体育館に足を運んでいただいた皆さんに、私たちの踊りで感謝の気持ちを伝えることができました。私たちの先生であるエマニュエルとタニアがデンマークから駆けつけてくれ、優勝で感謝の気持ちを届けられたことも嬉しい。今日はウクライナを支援いただいている方々への感謝の気持ちを伝えるため、少しでも会場でひまわりの種を配らせていただきました。優勝の報告はウクライナの家族にも届けたいと思います。

第4位



山岸圭太・石本美奈子組
(エムズダンスアカデミー)

第3位



山本武志・木嶋友美組
(LIBERA DANCE)

準優勝



久保田弓椰・徳野夏海組
(TEAM YUMIYA 北海道)

第6位



秋谷孝宏・田原美穂組
(エムズダンスアカデミー)

第5位



高橋一昌・高橋由紀子組
(牽手K&Yダンスクラブ)

三笠宮杯 全日本PDダンススポーツ選手権 ラテン

優勝



久保田弓椰・徳野夏海組 (TEAM YUMIYA 北海道)



準優勝



山本武志・木嶋友美組
(LIBERA DANCE)

第3位



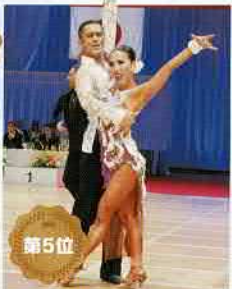
Kevin・河岡宏美組
(T Dance Production)

第6位



高辻博希・岡田優美組
(タカツジ・ダンス・スタジオ)

第5位



岸田肇・岡田祐子組
(岸田ダンスアカデミー)

第4位



西恭平・西川真由組
(LIBERA DANCE)

皆さまのサポートをいただき、久しぶり(3年ぶり4回目)の優勝なのでとても嬉しいです。苦しいこともたくさんありましたが、この日のために良いパフォーマンスができるよう、1秒も無駄にしないで過ごしてきました。全国のダンスファンの方々に元気を届けるのが私達の目標なので、今日は少しでも届けられたかなと思います。カップルを組んで7年目、パートナーはまだまだ若いのでこれからも益々頑張っていきます。

優勝

優勝



福原聖太・土屋海音組
(埼玉県)

Latin

- 準優勝 藤枝修也・林 日和組(埼玉県)
- 第3位 水田悠斗・大塚千菜組(京都府)
- 第4位 高井隆之介・藤村 友組(神奈川県)
- 第5位 金子祐大・関根乙央組(栃木県)
- 第6位 孫 藝菲・前川美桜組(東京都)



U-25オールジャパンダンススポーツカップ



川本 竜・川本弥由組
(奈良県)



Standard

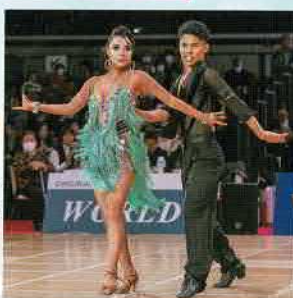
準優勝

太田歩生・松本京佳組
(北海道)

Latin

準優勝

ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST)



今西竜矢・今西心菜組
(ブルボンDST)



第4位 小林才時・小西乙愛組(長野県)
第5位 小島獅桐・鈴木柚葉組(群馬県)
第6位 木下将希・三喜真梨菜組(千葉県)



ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST)



小島獅桐・鈴木柚葉組
(群馬県)



第4位 小林才時・小西乙愛組(長野県)
第5位 濱田琉成・飛田 遥組(栃木県)
第6位 松浦龍騎・松浦優莉華組(宮城県)

全日本シニアI ダンススポーツ選手権



森川豊則・鈴木悠夏組
(大阪府)



Standard

準優勝

野口雄一郎・奥野亮子組
(東京都)

Latin

準優勝

石田茂之・矢野美帆子組
(茨城県)



村瀬賢一・小笹詩織組(埼玉県)



第4位 大塚隆義・秋吉花音組(東京都)
第5位 高杉耕一・高杉綾子組(東京都)
第6位 森 晃士・森 仁美組(三重県)
第7位 内藤雄介・秋松ひとみ組(北海道)



小林潤一・小林麻衣組
(千葉県)



蜷川博信・浅田 舞組
(東京都)



第4位 山下慶太郎・池田綾香組(愛知県)
第5位 岩本裕也・古賀山香利組(福岡県)
第6位 野村 亮・木内美奈組(東京都)

JOCオリンピックカップ 全日本ダンススポーツ選手権ジュニア



吉岡栄太・勝木里桜組
(東京都)



Standard

準優勝

茂呂駿舞・今村朱里組
(群馬県)

Latin

準優勝

南山雄大・社本実由組
(長野県)



藤枝大河・宮澤めぐ組
(埼玉県)



第4位 山下晴之・磯部 愛組(神奈川県)
第5位 藤枝大河・宮澤めぐ組(埼玉県)
第6位 江田煌也・細田琉永組(鳥根県)
第7位 鈴木伶音・渡辺華凜組(神奈川県)



足立拓海・打越聖愛組
(千葉県)



吉岡栄太・阪井麗蘭組
(東京都)



第4位 若山史穂・中井結愛組(東京都)
第5位 鈴木伶音・渡辺華凜組(神奈川県)
第6位 足立拓海・黒嶋ひなの組(千葉県)



サブアリーナで開催されたジュニア普及競技会の入賞者は、グランドセレモニーの前にフロアで三笠宮杯トップ選手と踊りを披露しました。(オレクシー選手と子供たち P6参照)



YouTube配信の解説者席の方々



今年も恒例の川柳コンテスト「ダンスあるある 川柳」金賞
体育館の外にはキッチンカーが出店 選手お薦めのメニューも



今年も恒例の川柳コンテスト「ダンスあるある 川柳」金賞

優勝インタビュー

U-25オールジャパン・ダンススポーツカップ スタンダード

優勝 川本 竜・川本弥由組
(大学2年生・大学4年生：奈良県)

今日は決勝を目標にしていたので、優勝できてとても嬉しい。姉弟で、ダンスを始めたのは弟が小学4年生頃。祖父がダンス教師だったのでがきっかけです。今年初めて経験したイタリア留学がとても刺激になり自分たちの成長に繋がったと思います。これからは、まずグランプリの決勝に残れるようになりたいと思っています。



U-25オールジャパン・ダンススポーツカップ ラテン

優勝 今西竜矢・今西心菜組
(中学3年生・高校3年生：ブルボンDST)

今回は絶対負けられない気持ちで臨みましたので2連覇できて嬉しいです。去年の目標だった三笠宮杯のファイナルには入ることができたので、これからは表彰台にそして優勝を目指して頑張りたいと思います。姉弟で組んで13年になりますが、これからは海外にも出てもっともっと強くなりたいです。



全日本シニアIダンススポーツ選手権 スタンダード

優勝 森川豊則・鈴木悠夏組
(大阪府)

リーダーは三重県、パートナーは大阪府のカップルです。学連の年代は異なるのですが、カップルを組んで17年になります。今年、シニアIの世界選手権の代表に選ばれているので優勝できて良かった。世界選手権では決勝入りを狙っていききたい。また、シニアIIにも出られるようになったので機会があれば挑戦してみたいと思っています。



全日本シニアIダンススポーツ選手権 ラテン

優勝 村瀬賢一・小笹詩織組
(埼玉県)

狙っていた2連覇ができてとても嬉しい。今年はシニアIのエントリー数も3倍近くに増えて嬉しいのですが、強くても若い選手も出ているので大変でした。直前のイギリスの大会でファイナルに残れたことが自信になった。今日の決勝は本戦と合わせ7ラウンド目でしたがハードな踊り込みをしているので体力には自信はありました。



JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ダンススポーツ選手権ジュニア スタンダード

優勝 吉岡栄太・勝木里桜組
(中学2年生・中学2年生：東京都)

今日は優勝を目指し全力で踊ることができたので良かった。カップルを組んだのは今年の8月なのでコミュニケーションをよく取って練習するようにしています。リーダーは山梨県、パートナーは神奈川県、練習は東京と神奈川です。これからも2人で成長していきたいと思っています。



JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ダンススポーツ選手権ジュニア ラテン

優勝 藤枝大河・宮澤めぐ組
(中学2年生・中学2年生：埼玉県)

優勝できてとても嬉しい。埼玉県の中でも家が離れているので練習日は土日が中心ですが、できればもう少し練習したいです。このあとポルトガルのジュニア世界選手権は初めての海外競技会なのでこの経験を大切に、海外の選手からいろいろと吸収していきたい。来年はジュニア最後の年、2連覇目指して頑張ります。



毎日新聞社杯 全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイル スタンダード&ラテン

優勝 福原聖太・土屋海音組 (小学5年生・小学5年生：埼玉県)

スタンダードとラテンのダブル優勝ができてとても嬉しい。パートナーは神奈川県なので毎週、埼玉のスタジオに通っています。(二人とも) 姉がダンスやっていて、いいなと思って始めました。ジュブナイルは今年が最後です。来年からはジュニアで頑張りたいです。



「第1回三笠宮杯サブアリーナジュニア普及競技会」開催を終えて



ジュニア育成部長 溝口 稔

ご承知の通り「2028年長野国民スポーツ大会」(国スポ)でダンススポーツが公開競技として行なわれることとなりました。国スポでは「少年の部」と「成年の部」の競技区分が分けられていますが、少年の部は中学3年～高校3年、成年の部は大学生以上です。

成年の選手を送り込むのは問題ありませんが、現状、少年の部に選手団を派遣するのが難しい都道府県も多々あり、ジュニア層の発掘、育成は切実な問題です。そこで、その機運を高めるため、手始めに今回「ジュニア普及競技会」を急遽行なうこととなりました。いろいろと問題点もありましたが、神奈川県ダンススポーツ連盟のご協力により、開催にこぎつけました。

競技区分は、中学生の部、チャイルドダンス、ソロ競技です。チャイルドダンスは組む相手が指導者でも保護者でも、競技選手でも良しとして、背番号を付けた選手の踊りを評価する競技区分で、小学生高学年の部、小学生低学年の部、未就学児の部と設けました。ソロダンスは一人で踊るダンスで、小学生の部から高校生の部までとしました。

当日は約110人の子供たちが集まりました。チャイル

ドダンスでは、親御さんや指導者が相手をされていました。皆さん丁寧に、正確に踊れるように、真剣にリード、フォローしてくれて、見ていてとても気持ち良かったです。少し予想外だったのは、未就学児の子が6人も出場して、きちんと踊ったことです。その可愛い姿を見て、これからの明るい未来が開けてくるように感じました。ソロダンスでは、バランスを崩して転ぶ子もいましたが、全体にレベルが高く、ワルツのナチュラルターンできちんとつま先を揃えている子が多く、素晴らしい技術だと感心しました。ラテンでは、自由に弾けるように踊り、ソロダンスもなかなか見どころがありました。

また、布村JDSF会長もサブアリーナに足を運んでいただき、小さな子供たちのダンスを熱心にご覧いただき、「将来のWDSFのトップ選手を目指して頑張ってください」とのお言葉を頂き子供たちも励みになりました。

来年も本大会の開催を継続したいと考えており、2028年国スポ公開競技に向けたJDSFの重要な事業と捉えて、三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会における普及競技として開催して頂きたいと要望する次第です。



小学生ソロ・パートナーステップの部



チャイルドダンス未就学児の部



子供たちの激励に訪れた
布村幸彦JDSF会長



チャイルドダンス高学年の部



チャイルドダンス低学年の部

2023年度ランキング競技結果・ 2024年度JDSF競技会について

例年のように、2023年度のJDSFランキングの結果、2024年度 JDSF競技会予定及び2024年版競技関連規程集の主な改訂点についてご報告いたします。



競技部長 星野 晴信

●2024年度JDSF公認全国メイン競技会日程（予定）

JDSFメイン競技会 St：スタンダードのみ La：ラテンのみ

- 3/20 全日本 PD10ダンス選手権 [福岡:宗像ユリックス]
- 3/31 PDダンススポーツグランプリカップin東京 [新宿コズミック] La
- 4/21 ダンススポーツグランプリin京都 [西宇治体育館] La (PDグランプリSt併催)
- 5/18,19 東京オープンダンススポーツ選手権 (東京体育館)
- 5/26 ダンススポーツグランプリin北海道 [きたえる] La (PDグランプリSt併催)
- 6/2 全日本10ダンス選手権 [稲永スポーツセンター]
- 6/16 PDダンススポーツグランプリカップin福岡 [福岡:宗像ユリックス] La
- 7/14 ダンススポーツグランプリin静岡 [グランシップ] St
- 8/18 ダンススポーツグランプリin富山 [富山市総合体育館] La
- 9/8 ダンススポーツグランプリin仙台 [青葉体育館] St (PDグランプリ併催)
- 9/15 PDダンススポーツグランプリカップin愛知 [長久手文化の家] St
- 10/19,20 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会 [東京体育館]
- 12/8 ダンススポーツグランプリin沖縄 [ANA ARENA浦添 (浦添市民体育館)] St

その他JDSF主催競技会等

- 1/7 全日本シニア10ダンス選手権 [京都:伏見港公園体育館]
- 1/7 全日本選手権ジュニア10ダンス [京都:伏見港公園体育館]
- 2/25 全日本選手権ユース10ダンス [京都:伏見港公園体育館]
- 7/27,28 第19回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ [高崎アリーナ]
- 9/1 日本スポーツマスターズ 2024長崎大会記念事業 DS競技大会 [長崎県立総合体育館]
- 10/20 ねんりんピック鳥取 2024 [鳥取:米子産業体育館]

その他を含め下記を参照ください。

https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/MainCompe_2024.pdf

※2024年国際派遣選考競技会

2024～2026年度国際派遣選考会は部門別に下記のURLを参照ください。

https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/11/HakenSenkou_2024-2026.pdf

2024年度国際派遣選考競技会は、部門別に下記の一覧表となりました。

代表派遣を目指す選手の皆様は良くご覧になり、予定を立て奮ってご参加ください。

なお、2024年のジュニアSt、Laの選考は、グランプリin京都のジュニア区分、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、三笠宮杯全日本選手権ジュニア区分の3大会のポイントにより選抜されることとなっています。

また、2024年のユースSt代表選考はグランプリin静岡、La代表選考はグランプリin富山の全日本選手権ユース、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、グランプリin仙台のユース区分の3大会のポイントにより選考とすることになりました。

以上のことをしっかりとご確認の上で、JDSF競技会にふるって参加して頂き、JDSF競技会がなお一層活性化されますことを願っております。

2024年	京都 (西宇治体育館) 4月21日	北海道 (北海きたえーる) 5月26日	静岡 (グランシップ) 7月14日	オールジャパン ジュニア (高崎アリーナ) 7月27日・28日	富山 (富山市総合 体育館) 8月18日	仙台 (青葉体育館) 9月8日	三笠宮杯 (東京体育館) 10月19日・20日	沖縄 (ANA ARENA 浦添) 12月8日
グランプリ スタンダード			○			○	○	○
グランプリ ラテン	○	○			○		○	
シニアI スタンダード	○	○					○	
シニアI ラテン						○	○	○
ユース スタンダード				○	○	○		
ユース ラテン			○	○		○		
ジュニアII スタンダード	○			○			○	
ジュニアII ラテン	○			○			○	

注.

世界ユース選手権/ジュニア選手権(スタンダード・ラテン)への派遣選考は、代表派遣をする世界選手権開催日3か月前を起点とした3大会のポイント結果により選考。

2024年度世界ジュニア10ダンス選手権の派遣選考会は、2024年1月7日京都:京都府伏見港公園体育館で開催。

2024年度世界ユース10ダンス選手権の派遣選考会は、2024年2月25日京都:京都府伏見港公園体育館で開催。

2024年度世界10ダンス選手権の派遣選考会は、2024年6月2日(愛知:稲永スポーツセンター)で開催。

世界シニアⅢの派遣選考会は、2024年9月1日(日)日本スポーツマスターズ2024長崎大会記念事業DS競技大会[長崎県立総合体育館]で開催。

世界シニアⅣの派遣選考会は2024年10月6日大阪:ららぽーと堺で開催

●競技関連規程集について

競技会主催者、競技役員用の競技関連規程全てを掲載した「2024年版JDSF競技関連規程集」を12月に発行致しました。チェアパーソン(競技長)はじめ競技会を運営される方はよくお読みになり、競技会開催時には是非お手元において、お役立て下さい。

これまで登録選手の皆様に配布されていた「選手用競技関連規程集」は2016年より廃止となりました。

2024年 競技関連規程集の主な改訂ポイントと解説

(P5) 第35条の1:10ダンスで同点決定戦が発生した場合の対応を明確にした。

(P7) 第49条:JDSFの最終決定に対する不服申し立てについてJDSFスポーツ仲裁規程に従い解決するとより明確にした。

(P8) 第5条:競技会電子シラバス申請を行うためのシステム名に変更した。

(P10) 第5条:3級戦及びノービス戦で昇級資格を得たにも拘らず選手登録を行わない場合は、罰則規程の対象となるよう改訂した。

(P10) (降級特別措置) 第8条:降級免除の対象を、出産、骨折、3大疾病を含む外科手術と、1年以上の海外出張とより明確にした

(P12) 降級基準(D級から1級へ):「D級戦に年間10回以上出場し1次予選の合計で20チェック(フリーパスは除く)」を適用しての持ち級維持者はここ数年いない為、③は削除とした。

(P14) 競技会に関する内規 第1条:3)に日本スポーツマスターズについて記載した。

(P14) 競技会に関する内規 第2条の5:1)に審判員関係選手届について記載した。

(P17) 競技会出場選手罰則規程:登録選手罰則規程から、競技会に出場する全ての選手に適用とする為規程名称など改訂した。

(P30) 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟アンチ・ドーピング規程:2022年10月1日から施行されたアンチ・ドーピング規程にあわせ、「ドーピング防止規則」を一新した。

(P60) 第11条の1と2:デジタル会員証においては、表示可能端末を常時携帯すること。また、必要な場合に提示できることと改訂。

(P62) 第3条の3(世界シニアI選手権):派遣選考基準について明確にした。

(P65) シニアI国際派遣選手・強化選手選考基準細則:2023年4月22日に制定された内容を記載した。

(P66) 第5条の6と7:強化選手の認定基準内容について明確にした。

(P70) 3「普及競技」の運用2:会員登録者以外が競技会支援システムを利用する場合、競技本部に事前に許可を取ることと明確にした。

(P70) 3「普及競技」の運用6:会員未登録者及び未選手登録者であっても違反行為があった場合は、競技会出場選手罰則規程が適用されるものと改訂した。

(P73) シラバス作成について:2023年4月以降の電子シラバス作成にあわせ内容を一新した。

その他1 シニアVについて:(P1)第3条の3の2)代表選考会についてはWDSFの規則に準ずると明記。

(P62)第2条の4選手を派遣する国際競技会に世界シニアV選手権(オープン)を追加。

その他2 下線は改訂重要部分のみとし、その他、文言や数字等の加除訂正、配列の訂正、変更などをした。

2023年度JDSFランキング競技の結果

全日本ダンススポーツランキング

●スタンダード

1位	小嶋みなと・盛田めぐみ	神奈川県
2位	大西 大晶・大西 咲菜	富山県
3位	守屋 駿・盛田 舞香	神奈川県
3位	Tudor Andrei・吉川 あみ	東京都
5位	中村エドワード漸・中村エリザベス永理	ブルボンDST
6位	海老原竜太・尾身 菜月	千葉県
7位	太田 歩生・松本 京佳	北海道
7位	熊谷 光晃・粕尾明日香	東京都
9位	佐藤 祐馬・久保田理沙	東京都
10位	倉科 翔・伊藤 梨乃	長野県



1位 小嶋 みなと・盛田 めぐみ



2位 大西 大晶・大西 咲菜



3位 守 駿・盛田 舞香

●ラテン

1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山県
2位	海老原拳人・タカギルナ	千葉県
3位	今西 竜矢・今西 心菜	ブルボンDST
3位	高橋 海・榮岩由莉那	千葉県
5位	太田 佳輝・三喜穂菜美	長野県
6位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
7位	押川 慧悟・和田 知世	神奈川県
8位	原口 侑弥・大西陽来里	富山県
9位	太田 歩生・松本 京佳	北海道
9位	小林 才時・小西 乙愛	長野県



1位 大西 大晶・大西 咲菜



2位 海老原 拳人・タカギルナ



3位 今西 竜矢・今西 心菜

PD全日本ポイントランキング

●スタンダード

1位	グザー オレクシー・太田吏圭子	リズムメディア
2位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
3位	山崎 圭太・石本美奈子	エムズダンスアカデミー
4位	喜多田芳起・細田 千代	ザ・ゴールデンパレス大阪
4位	高橋 一昌・高橋由紀子	幸手K&Yダンスクラブ
6位	秋谷 孝宏・田原 美穂	エムズダンスアカデミー
7位	前田 雅仁・宮崎 梢	まえだダンス倶楽部
8位	壺内 康文・壺内 美和	スターロードダンスセンター
8位	山本 武志・木嶋 友美	LIBERA DANCE
10位	見元 克至・北畑 香織	アサノダンススクール



1位 グザー オレクシー・太田 吏圭子

●ラテン

1位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
2位	Kevin・河岡 宏美	T-Dance Production
3位	西 恭平・西川 真由	LIBERA DANCE
4位	岸田 肇・岡田 祐子	岸田ダンスアカデミー
5位	高辻 博希・岡田 優美	タカツジ・ダンス・スタジ
6位	谷茂岡 敦・姫見 麻未	ダンススタジオミナミ
7位	山本 武志・木嶋 友美	LIBERA DANCE
8位	藤見 昭次・藤見 美子	福島県
9位	春山 祐樹・春山佐輝子	ダンススクールハマノ
10位	多伊良和彦・松井美穂子	タイラダンススタジオ



1位 久保田 弓椰・徳野 夏海

ユースランキング

●スタンダード

1位	中村エドワード漸・中村エリザベス永理	ブルボンDST
2位	小林 才時・小西 乙愛	長野県
3位	木下 将希・三喜真梨菜	千葉県
3位	高橋 海・榮岩由莉那	千葉県
5位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST



1位 中村エドワード漸・中村エリザベス永理



1位 高橋 海・榮岩 由莉那

●ラテン

1位	高橋 海・榮岩由莉那	千葉県
1位	今西 竜矢・今西 心菜	ブルボンDST
3位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
3位	小島 獅桐・鈴木 柚葉	ユースアスリートクラブ
5位	中村エドワード漸・中村エリザベス永理	ブルボンDST

ジュニアランキング

●スタンダード

1位	茂呂 駿舞・今村 朱里	ジュニアアスリートクラブ
2位	足立 拓海・打越 聖愛	千葉県
3位	藤枝 大河・宮澤 めぐ	埼玉県
4位	山下 晴之・磯部 愛	ジュニアアスリートクラブ
5位	江田 煌也・細田 琉永	島根県

●ラテン

1位	藤枝 大河・宮澤 めぐ	埼玉県
2位	南山 雄大・社本 実由	長野県
3位	原澤 英大・竹之内梨音	山梨県
3位	若山 史穂・中井 結愛	ジュニアアスリートクラブ
5位	鈴木 伶音・渡辺 華凜	ジュニアアスリートクラブ



1位 茂呂 駿舞・今村 朱里



1位 藤枝 大河・宮澤 めぐ

2023ダンススポーツグランプリin北海道

10月1日(日) / 北海きたえーる

「グランプリシリーズ」の2023年度最終戦となる「ダンススポーツグランプリin北海道」が、北海きたえーるで盛大に開催されました。本大会は「三笠宮杯」「WDSF世界選手権」の代表選考会にもなっており、全国からトップ選手たちが集結。迎え撃つ北海道勢は、PDの久保田・徳野組が率いる「TEAM YUMIYA 北海道」の応援団が詰めかけ、久保田組をはじめA級ラテン優勝の太田・松本組らに大声援を送り、会場は大いに盛り上がりました。そして注目のグランプリスタンダードは、小嶋・盛田組がクイックを除く4種目を制して大西組の追撃を退けました。



金子和裕大会実行委員長の挨拶



高橋毅北海道ダンススポーツ連盟会長の挨拶



優勝 小嶋 みなと・盛田 めぐみ組 (神奈川県)
第2位 大西 大晶・大西 咲菜組 (富山県)
第3位 Tudor Andrej・吉川 あみ組 (東京都)
第4位 守屋 駿・盛田 舞香組 (神奈川県)
第5位 倉科 翔・伊藤 梨乃組 (長野県)
第6位 海老原 竜太・尾身 菜月組 (千葉県)

小嶋 みなと・盛田 めぐみ組 (神奈川県)
 大西 大晶・大西 咲菜組 (富山県)

PDスーパーグランプリカップラテン



優勝 久保田 弓都・徳野 夏海組 (PD北海道)
第2位 高辻 博希・岡田 優美組 (PD関東甲信越)
第3位 岸田 肇・岸田 祐子組 (PD関東甲信越)
第4位 西 恭平・西川 真由組 (PD関東甲信越)
第5位 兄後 幸大・兄後 智子組 (PD北海道)
第6位 多伊良 和彦・松井 美穂子組 (PD西部)

多伊良 和彦・松井 美穂子組 (PD西部)
 兄後 幸大・兄後 智子組 (PD北海道)
 西 恭平・西川 真由組 (PD関東甲信越)



地元の大応援に応える久保田・徳野組



優勝 村田 知紀・北見 奈稚組 (神奈川県)

JDSF B級戦スタンダード



優勝 中島 瑠大・岡田 愛彩組 (北海道)

JDSF A級戦ラテン



優勝 太田 歩生・松本 京佳組 (北海道)

第23回 関東甲信越ブロック選手権

10月8日(日) / 川越運動公園総合体育館1Fメインアリーナ

主催：(公社)日本ダンススポーツ連盟 関東甲信越ブロック

1都9県が一堂に会し、持ち回りで開催されている“関東甲信越ブロック選手権”。今年は埼玉県川越市が舞台となり、個人戦に延べ312組(12区分)、団体戦に10チームが出場して盛大に挙行されました。注目の選手権はSt=小嶋みなと&盛田めぐみ組(神奈川県)、La=Tudor Andrei&吉川あみ組(東京都)が優勝。また都県対抗団体戦は、神奈川県が東京都の3連覇を阻んで栄冠を獲得しました。



社交ダンス経験のある埼玉県議の渋谷真実子議員(自民党)を中心に、左より高橋久雄埼玉県DS連盟会長、山田淳JDSF副会長、中道俊之専務理事、山口剛常務理事



開催地川越市・川合善明市長の挨拶



地元選出・中野英幸衆議院議員(自民党)の挨拶



関東甲信越ブロック運営委員会・渡辺英美委員長の挨拶



大声援が飛び交った団体戦



優勝：神奈川県チーム

都県対抗団体戦 総合成績

優勝	神奈川県	6位	長野県
2位	東京都	7位	新潟県
3位	埼玉県	8位	茨城県
4位	栃木県	9位	山梨県
5位	千葉県	10位	群馬県



2位：東京都チーム



3位：埼玉県チーム



優勝

小嶋 みなと・盛田 めぐみ組(神奈川県)

関東甲信越ブロック選手権



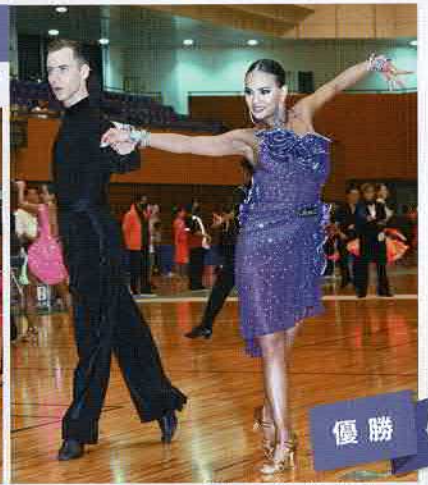
第2位

守屋 駿・盛田 舞香組(神奈川県)



第2位

小林 才時・小西 乙愛組(長野県)



優勝

Tudor Andrei・吉川 あみ組(東京都)



第3位

中村 エドワード漸・中村 エリザベス永理組(ブルボンDST/神奈川県)



第4位

倉科 翔・伊藤 梨乃組(長野県)



第3位

小島 獅桐・鈴木 柚葉組(群馬県)



第4位

押川 慧悟・和田 知世組(神奈川県)



第5位

佐藤 祐馬・久保田 理沙組(東京都)



第6位

ホワイトン 謙心・ホワイトン 夏奈美組(ブルボンDST/神奈川県)



第7位

山本 哲郎・工藤 由美子組(東京都)



第6位

村田 知紀・北見 奈稚組(神奈川県)



第5位

向山 翔矢・馬場梨 紗子組(長野県)

栃木県 ダンススポーツ連盟 創立30周年記念式典



開催日：2023年11月19日（日） 開催地：ホテル東日本宇都宮

栃木県ダンススポーツ連盟は、1992年9月27日、渡辺文雄県知事（当時）を名誉会長にお迎えし設立されました。30周年は昨年でしたが、コロナ禍で1年延期の開催となり、式典には約300名が参列、支部紹介や功労者表彰等がありました。

記念すべき式典の冒頭、小野武伸 栃木県DS連盟会長は「歴代役員や会員の皆様のお陰でここまでできました。今後は、若手の育成、後継者の育成に尽力したい。皆様のご健勝とご多幸を!」と挨拶。中道俊之JDSF専務理事は「本年（2023年）2月に発表したビジョンの具体的な成果を、JDSF会員が一致団結して出していきたい」と挨拶。（公財）栃木県スポーツ協会の石松英昭会長からは「ダンススポーツは、生涯スポーツとして益々競技人口が増えることが期待されています!」とご祝辞を頂きました。



栃木県スポーツ協会
石松英昭会長



小野武伸
栃木県DS連盟会長



司会進行 稲葉優子
副会長（実行委員長）



中道俊之
JDSF専務理事



乾杯 谷博之氏
（前参議院議員）



受付の皆さん

ねんりんピック代表選手、関東甲信越ブロック対抗戦代表選手紹介



ご来賓



東京都及び神奈川県役員



長野県、千葉県、群馬県の役員



久保田照人栃木県ボールルームダンス連盟会長と役員の皆様

支部紹介

JDSF栃木県は、宇都宮市、小山市、足利市、真岡市、大田原市の各市を中心に5つの支部で構成されています。お揃いのユニフォームで踊りました(東支部)



2021年より栃木県ブレイクダンス部が発足



競技選手表彰



35名の選手、さらに、特別功労選手として濱田琉衣氏、最優秀選手には五月女光政・五月女叡佳組が受賞されました。写真は五月女光政・叡佳組



栃木県ダンススポーツ連盟 30周年記念祝賀会

ダンスタイム

栃木県が誇る
濱田3兄弟



濱田琉衣、琉光、琉成



濱田琉衣・長谷川真優組



濱田琉光・内山マリーナ組



濱田琉成・飛田遼組

功労者表彰

42名の功労者表彰者を代表して中村守利氏(県連盟前会長)と甘利知子氏(同監事)が登壇しました。

とちぎテレビ (とちテレNEWS)



記念式典は「競技ダンスのさらなる発展へ」と、この日のニュースで報道されました。



WDSF世界選手権 ジュニアⅡラテン& シニアⅠラテン報告



選手強化部長
竹下 次郎

開催地：ポルトガル バゴス市(ムニシパル・パビリオン)
開催日：2023年10月28日(土) WDSF世界選手権ジュニアⅡラテン
2023年10月29日(日) WDSF世界選手権シニアⅠラテン

ジュニアⅡ チーム・ジャパン

代表選手：藤枝 大河・宮澤 めぐ組
原澤 英大・竹之内 梨音組
帯同役員：竹下 次郎

世界選手権等の帯同役員を務めるのは、今回で10回目となりますが、コロナ禍のため4年ぶりとなり、自ら作成したJDSF帯同役員マニュアルを改めて確認しながら、業務を進めることとなりました。

最初に、特筆しなければいけないのは、世界選手権主催者のポルトガルダンススポーツ連盟のMr.André Vieiraにとっても良くしていただいたこと。大変感謝しております。問合せのメールを何回しても、瞬時に返事をくださるとても真面目な方でした。また今回は、現地でのホテル代金等を自ら海外送金する必要があり、和田知世さん(シニアⅠラテン世界選手権日本代表)にWebでの送金方法を教えて頂き、とても助かりました。

1. 現地到着

10月27日、エールフランス航空で羽田から約13時間の飛行後、午前8時パリ空港に到着。トランジットに6時間、ポルト空港まで飛行1時間半、そして空港で1時間程待って、100km離れたバゴス市までバスで移動という、ほぼ24時間の移動となりました。バゴス市のオフィシャルホテルHerdade do Lago Realは、まるでリゾートホテルのようで、特にフロントの方がとても親切なのが印象に残りました。ルームキーを渡されてから、フロント



係が部屋まで案内してくれましたが、海外のホテルでこのような「おもてなし」を受けたのは初めてだったので、とても感動しました。

2. 会場 Municipal Pavilion of Vagosへ移動



会場でのメイクアップを予約していたということから、めぐと梨音は午前5時半にホテルを出発し、会場へ向かいました。きっと3~4時間の睡眠だったことでしょう。

会場は、更衣室が6カ所用意されており、選手も余裕を持って着替えることができました。背番号や予約席券をもらう場所もしっかりしており、各スタッフの対応もとても親切で、ポルトガル人の優しさを肌で感じました。特に、予約席券を受取りに行った時に「Takeshita」とスタッフに名前を告げると「おー！日本から来たTakeshitaだね。私はよく知っているよ！」と言われ、嬉しくて泣きそうになりました！

世界選手権ジュニアⅡラテン

セレモニー開始14時30分、競技開始15時、競技終了24時10分。競技開始前に高い所からフロア全体を俯瞰し、自分たちが最高のパフォーマンスを発揮して踊っているイメージを脳に覚えさせる。大河と英大を2階観客席に連れて行き、緊張している心を落ち着かせるため魔法をかけた。



日本の競技会と異なり、海外では一次予選のヒート割が開始直前までモニターに掲示されず、待っている間、久しぶりのドキドキ感を楽しんだ。そしてヒート割が掲示

されたら、直ぐに入場口まで走って大河と英大にメモを渡す。海外でないと味わえない久しぶりのハラハラ感だ!

いよいよ一次予選開始、まずはサンバ、フロアに進む二人に背中を押すように声をかける。『大河、めぐ、思いっきり楽しんで来い!』。世界選手権独特の大歓声の中でも、いつも通りのサンバを踊る大河とめぐ。日頃の練習の結果をしっかりと見せる、さすがにすばらしい!『英大、梨音、持っている力をすべて出しきって来い!』。負傷している膝の痛みを忘れさせるエネルギッシュなサンバ!『よし、その調子だ! 英大、梨音、頑張れ!』。久しぶりの世界選手権に彼らと一緒に楽しんでいる自分がいた。

3. 未来へつなげて

競技終了後、未来につなげる話し合いをした。「今回の世界選手権を踊って、どんなことを感じたか」「自分たちの踊りには、何がこれから必要か」「今後自分たちは、どのように練習をしたらよいか」。

体力的にも、技術的にも、海外選手との間には高い壁があった。しかしこの高い壁の向こうには、更に輝いた藤枝大河・宮澤めぐ組、原澤英大・竹之内梨音組がいるだろう。

今回初めての世界選手権出場の大河・めぐ組、2回目出場の英大・梨音組ともに、第3ラウンドへのアップは叶わなかったが、世界の風を受け、自分たちの踊りと体力を改めて見直すチャンスを得たことが、彼らが更に進化していくきっかけとなることを期待している。そして、来年の世界選手権も一緒に行こうと約束した。



ジュニアIIチーム・ジャパン

競技結果

1位 キプロス

Ivan Marynich - Petrova Melaniia

2位 ルーマニア

Marius-Tiberiu Padurean -
Adelina Stanciu

3位 ラトビア

Jegors Prokins - Polina Karimova

59-62位 藤枝 大河・宮澤 めぐ組

原澤 英大・竹之内 梨音組



藤枝大河・宮澤めぐ組



原澤英大・竹之内梨音組

世界選手権シニアI ラテン

代表選手：押川 慧悟・和田 知世組
石田 茂之・矢野 美帆子組
蛭川 博信・浅田 舞組

私たちジュニアIIメンバーは、日本代表選手に大応援を行ない世界選手権会場を大いに盛り上げました。特にTBS金スマのカメラクルー（ディレクター：黒川展寛氏）が撮影しており、海外選手もかなり意識して踊っている感じでした。

昨年の世界選手権で4位入賞した押川・和田組も今回は第4ラウンド（最終予選）13位、石田茂之・矢野美帆子組23位、蛭川博信・浅田舞は34位という結果となりポルトガルの世界選手権は終了しました。



シニアI代表選手。左より蛭川・浅田組、押川・和田組、石田・矢野組



第27回 全国ダンススポーツフェスティバル in OKINAWA

会場：沖縄県総合運動公園メインアリーナ 開催日：2023年12月10日（日）



亀谷享・亀谷智美組
(レオン・エリ・ダンススクール)
による選手宣誓



安谷屋聡 沖縄県
DS連盟会長



荒川利雄
チェアパーソン



7名の審判員

沖縄県のダンススポーツの普及と振興を図る安谷屋聡会長は「この大会は、沖縄県の観光客誘致と文化スポーツイベントを開催する『サントピア沖縄・ふれあいフェスタ』の一環として1995年12月に第1回大会が開催され、全国から『沖縄のサントピア大会』の愛称で親しまれていました。昨年からは名称を変更し、『全国ダンススポーツフェスティバル in OKINAWA』として開催。今大会から新しく寄贈された沖縄県知事杯優勝カップ（ちゅら島杯）の最初に名を刻むのはどのカップルか、注目の大会でもあります」と挨拶されました。荒川利雄 チェア

パーソンからは競技上の諸注意がありましたが、大会には北海道をはじめ15都道府県から選手が集まりました。

岸尾政弘 沖縄県DS連盟名誉顧問（アドバイザー：JDSF事務局長）を司会に、ジャッジにはJDSF山田淳副会長や山口剛競技本部長、鶴崎清貴国際本部長ら7名があたり、谷口主嘉デジタル・コミュニティ推進部長の発案で、福岡から高原修競技支援システム部副部長も駆けつけ、諸機材のセッティングなどを行ないYouTube配信されました。2024年12月の『グランプリ沖縄大会』に繋がる大きな成果となりました。（広報部相談役 神宮周二）

沖縄県知事杯 美ら島スタンダード

今なおこの地球上で繰り返される戦争、そして78年前の沖縄戦線。大きな悲しみと同時に、先人たちが築いてきた今ある平和があるからこそ、ダンスが出来る幸せに感謝の気持ちでいっぱいです。開催に当たり、ご尽力頂いた皆さま、同じフロアで共に踊ったダンスLOVEな仲間たち、大声援と暖かな拍手をくださった観客の皆さま、本当にありがとうございました。昨年優勝して頂戴した琉球ヘアグラスは家宝です。今年も栄え

優勝

ある2連覇で立派なトロフィーをお預かりし、来年の大会まで切磋琢磨して参ります。また来年！Let's Love Dance！



安澤武彦・堀慶子組（東京都）
(美ら島La第4位)

第3位



金城勝三・金良美幸組
(ダンススポーツサークルA-ONE)

沖縄県知事杯 美ら島ラテン

第27回沖縄大会に参戦し、大きな優勝カップを戴きました。来年の参加を約束して、JDSF事務局に預かっていただきました。記念すべき第1回に名前が刻まれていることにとっても感激しています。沖縄大会には20年近く参加しているので大きなご褒美をいただいた気がします。沖縄のお友達もたくさんできました。皆さん、来年も行きますので待っていてください。

優勝



平沢一夫・平沢恵子組（茨城県）
(美ら島St準優勝、シニアⅢA級La準優勝)



谷口主嘉・谷口小夜子組（京都府）
(A級St優勝)

準優勝



第3位

儀間 剛・大城須枝子組
(A. K. ダンスインターナショナル)
(美ら島St 第5位)



沖縄県知事杯美ら島St 表彰式



沖縄県知事杯美ら島La 表彰式

沖縄県知事杯 団体戦

この大会では団体戦も開催されており、大声援に選手も会場もエキサイト！大熱戦が繰り広げられました。チームの1組が発熱の為に欠場も、補強で凌いだ「ピラミッド2023」チームが優勝。沖縄県選手で固めた「JDSFうちなー」チームは準優勝に輝きました。



選手受付にて役員の皆さん



競技終了後は全員で床の掃除です



団体戦の競技風景



優勝 **ピラミッド2023**
準優勝 **JDSFうちなー**
第3位 **ちむとんどん**

亀谷 享・亀谷智美組
(レオン・エリ・ダンススクール)



準優勝

A級戦スタンダード



安谷屋聡沖縄県DS連盟会長は司会の玉城嶺子さんと「JDSFうちなー」チームに出場、準優勝に貢献しました



千葉慎太郎・吉岡由美恵組 (東京都)
(シニアⅢA級戦La優勝)

優勝



優勝

村田知紀・北見奈稚組
(神奈川県)

A級戦ラテン

人生初の沖縄です！ずっと出たいと思っていたし、優勝もでき感無量です。自然が豊かで会場の周りも緑がいっぱい。天気にも恵まれて風も心地よく、空も広く綺麗でとても癒されました。今年最後の試合を愛あふれる沖縄で締めくくることができ、来年に向けての良いエネルギーチャージをすることができました。これもJDSF沖縄の皆様と、心温かく声援を送ってくださった皆様のお陰です。ありがとうございます。来年の沖縄グランプリを楽しみに、2人で切磋琢磨しながら日々精進してまいります

準優勝



佐藤寿一・佐藤美奈子組
(埼玉県)



シニアⅢA級戦スタンダード



準優勝



B級戦St表彰式



B級戦La表彰式



シニアⅢA級戦La表彰式



林 伸男・林 民子組
(岐阜県)

C級戦St表彰式



C級戦La表彰式



シニアⅢB級戦St表彰式





シニアPトレ (Performance Training) 沖縄で開催



谷口主嘉・谷口小夜子ご夫妻、左は仲嶺英世顧問

「第27回全国ダンススポーツフェスティバルin OKINAWA」の翌日、沖縄県内最大級のスポーツ施設の沖縄県総合運動公園体育館サブアリーナにおいて、沖縄県ダンススポーツ連盟の仲嶺英世顧問（前会長）の呼びかけで、シニアパフォーマンストレーニングが谷口主嘉・谷口小夜子ご夫妻を講師に開催されました。前日の大会に出場した大阪府や兵庫県のカップルも加わり、約40名が集結し良い汗を流しました。

谷口主嘉さんがフロアの前に出て、「パフォーマンスは普通の筋トレとは違い心構え（メンタル面）も必要」として、筋肉や骨などに関する用語を交えて見本を示しながら基礎的な動作を解説、さらにPトレを活かしたワルツ、タンゴ、ルンバの基本的な踊りの技術まで、熱のこもった充実したシニアPトレ講習会となりました。

「シニアダンサーは身体が硬くなる一方で、『先ずは動

ける身体にすること』が最も大事だと思います。シニアPトレは元々、主人が手術をした私を踊れる身体にするために始めたことで、ヨガやダンスコーチャーに相談しながら私の回復の様子をみて難度を高めて行きました。初めは二人だけでPトレをしていたのですが、見ていた選手がどんどん入って来て、今では札幌から沖縄迄仲間が増え、オンラインでサークルのメンバーみんなに配信したり、サークルの活動日にテレビ画面に映して参加者全員でPトレに参加しています。真面目に参加されている方は皆さん結果を出しておられるので、それが一番嬉しいです。Pトレの一番の成果は『試合で、へたらずに踊れること』です。凄く楽しい沖縄の競技会、仲間と一緒に健康で踊れたこと、そして家族に感謝です。参加された方は『シニアPトレ』と言うように、若い方は一人もいませんでしたが!!」（谷口小夜子さん談）



谷口小夜子さん（左端）はサイドから個人的にアドバイス



参加者一同

京都時代祭に参加しました

「時代祭」は葵祭、祇園祭と並ぶ京都三大祭のひとつで、10月22日に毎年開催されています。徳川城使上洛列という大名行列を模したような列に、馬に乗って参加です。清々しい秋晴れに恵まれ、絶好のお祭り日よりでした。



まずは9時から1時間の学区内巡行も順調でした。そして、京都御所・建礼門前から平安神宮まで市内全長約5キロを約2,000名で約3時間かける巡行の始まりです。キムタク（木村拓哉さん）等も乗せたベテランの馬、最初は落ち着かず行列が止まると後ろを向いては鳴いてばかりで、私は振り落とされぬか心配でしたが、手綱を引いていた方も私と同じ年齢（70歳）で『馬とトリオで頑張りましょう！ 楽しくなって来た!!』とスタート。行列が止まった時に手綱を持ち、周りに手を振ったこのパフォーマンスが馬も気に入ったようで、ようやく落ち着きました（さすがの手綱裁き）。

ニュースでは2件の落馬事故があって、1人は腕の骨を折る重症のようでしたが、なんとか私は「時代祭の3時間の行列」を無事に終わることができました。

京都府ダンススポーツ連盟会長 谷口主嘉

WDSF Breaking for Gold World Series in 香港 チームジャパン報告



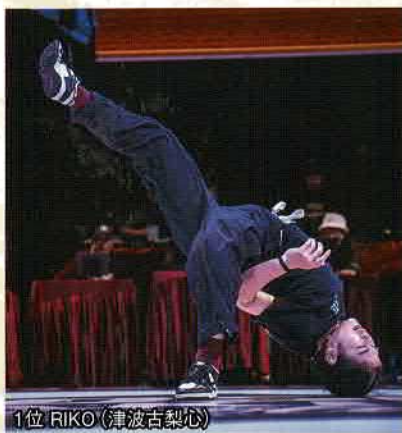
JDSFブレイクダンス本部選手強化部長
渡邊 将広 (JOCナショナルコーチ)



表彰式終了後の日本選手団 (前列右よりYUINA、AYANE、ISSIN、RIKO、HIRO10、NORI)

2023年12月15日 (金)・16日 (土)、香港のクイーンエリザベススタジアム (伊利沙伯体育館) で行われた「WDSF Breaking for Gold World Series in 香港」に、6名の日本人選手を派遣。この世界的に注目される大会で、日本チームは輝かしい成果を上げました。男子選手のISSIN (菱川一心) と女子選手のRIKO (津波古梨心) が金メダルを獲得。さらに男子選手のHIRO10 (大能寛飛) と女子選手のAYANE (半井彩弥) が銅メダルを獲得しました。この大会は、2022年7月から始まったパリオリンピック2024への道「Road to Paris」に指定された「WDSF Breaking for Gold World Series」の最終戦であり、その結果に基づき、2024年5月および6月に開催される「Olympic Qualifier Series event」への出場権が決定しました。

日本人選手 結果



1位 RIKO (津波古梨心)



3位 AYANE (半井彩弥)



1位 ISSIN (菱川一心)



3位 HIRO10 (大能寛飛)

B-GIRL (個人女子)

- 1位 RIKO (津波古梨心) 沖縄県
- 3位 AYANE (半井彩弥) 東京都
- 13位 YUINA (村上結菜) 石川県

B-BOY (個人男子)

- 1位 ISSIN (菱川一心) 岡山県
- 3位 HIRO10 (大能寛飛) 石川県
- 7位 NORI (菊池教稔) 茨城県

RIKO (津波古梨心)

香港の大会に向けて、私はダンスのバリエーションを増やすことに集中しました。時間の制約がありましたが、既存のセットに新しい要素を加え、ムーブの流れを変えることができたと思います。メンタル面と体調には不安定な部分がありましたが、それでも大会当日には自分の力を最大限に発揮しようと頑張りました。結果として優勝できたことは、とても嬉しく、自信につながりました。これからのオリンピック予選シリーズ (OQS) に向けて、さらなる高みを目指していきます。



ISSIN (菱川一心)

アジア競技大会での反省を活かして、今回の準備では特に体力強化に集中しました。得意とするパワームーブ以外でも、細かな動きをフットワークに取り入れてポイントを獲得できるように新しい動きをたくさん作り出すことにも成功しました。大会中は自分らしく、何にも凹みず楽しんで踊ることができました。今回の大会で得た学びと経験を生かし、次なるステージへの準備に励みたいと思います。



富山県ダンススポーツ連盟 JDSF Toyama 30th Anniversary 発足30周年記念式典

開催日：2023年11月26日（日）

会場：オークスカナルパークホテル富山

富山県ダンススポーツ連盟は、1993年（平成5年）9月15日、富山県アマチュアダンス協会として発足。2018年（平成30年）4月1日、認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）となり、富山県のダンススポーツを統括する団体として、ダンススポーツの普及と発展を図り、県民の心身の健全な発展並びに社会貢献を目的に活動し、富山県内は勿論のこと北陸ダンス界の発展にも大きく寄与。23年11月には発足30周年を祝うがごとく、文部科学大臣より生涯スポーツ優良団体賞を受賞しました（P22参照）。

12時にドアオープン。加盟サークルの演技発表、ジュニア、愛好者のデモ、選手のトライアル等の後、発足30周年記念式典並びに記念祝賀会が始まりました。

★グランドセレモニー

新田八郎 富山県知事（富山県スポーツ協会会長）は、「ルーマニアの世界選手権等で活躍している国際レベルの大西大晶・大西咲菜組はじめ、多くのジュニア選手育成にも尽力され実績をあげている富山県DS連盟の皆さまに敬意を表します」と挨拶。藤井裕久富山市長は「見ていても背筋が伸びていてリズミカル。しかも若々しく、やりがいのある人生を謳歌されており、その一方で、ダンス人口の増加にも尽力されている。益々のご発展を!」とご祝辞がありました。布村幸彦JDSF会長は「私は富山県の出身。パリ五輪ブレイキ

ン競技も来年に迫り、2028年より国体（国スポ）の正式公開競技にも決まりました。生涯スポーツ、競技スポーツとしても最適のダンススポーツを、皆様方に、是非とも支えて頂きたい」と挨拶されました。

田畑裕明衆議院議員（富山県DS連盟名誉会長）は、「ルパン三世のダンスショー等も楽しみました。笹山理事長はじめ役員の皆様にも感謝します」と挨拶。奥野詠子富山県議会副議長の乾杯でディナータイムとなりました。

主催者を代表して笹山治一理事長は、「お陰様で発足30周年を迎えました。そのおめでたい年に、文部科学大臣より生涯スポーツ優良団体表彰も受賞。会員の皆様方、全国のJDSF会員の皆様、そして若き日に育てていただきました日本競技舞踊連盟（現：日本ボールルームダンス連盟）の諸先輩方や同期の方々、そして日頃からお世話になっております皆様方と共に祝いたい」と思いを話されました。



新田八郎富山県知事（中央）、藤井裕久富山市長（右隣）、田畑裕明衆議院議員（左隣）と布村幸彦JDSF会長（右端）、笹山治一JDSF富山理事長（左端）



「乾杯!」のご発声。奥野詠子富山県議会副議長

★ダンスショー

「ルパン三世 黄金のなんと菊を狙え!」

ルパン役を大西陽来里さんが演じ、出演はハッピーHAPPYクローバー、JELジュニア、JELヤングサークルの皆さん。演出・構成は大西早織さん



大西早織さん、大西咲菜さん親子で



生涯スポーツ功労者表彰を受賞した黒田成則黒田晃子組（富山県DS連盟副会長）



富山県DS連盟が誇るジュニア選手一同



ダンスタイム

★お祝いにダンスを披露



学連先輩の東大OB
西尾 治一・西尾 聖子 組
(東京都DS連盟)



元全日本チャンピオン
所 裕子さんと有馬 直樹 組

★ご来賓



元ロシアグランプリと
元10ダンスチャンピオンの
池田 耕治・セルミヤギナ ヴィクトリア 組



元全日本チャンピオン
渡辺 和昭・渡辺 華凜 組(親子)



テレビ「金スマ」特番でお馴染み
蛭川 博信(オチヨ)・大西 咲菜 組

★笹山治一・良子組 踏歴55周年のメモリアルダンス



笹山 治一・笹山 良子 組

学連夏全2連覇 日本大学3年時にサンケイ杯
日本インターナショナル選手権優勝のご夫妻!
(現)



笹山 治一・笹山 ひな乃 組

名選手と共に!



笹山 治一・大西 陽来里 組



笹山 治一・大西 咲菜 組



笹山 治一・セルミヤギ
ナ ヴィクトリア 組

★特別ゲストデモンストレーション



秋田 龍星・松村 舞風 組
(ハッピーHappyクローバー)



大西 大晶・大西 咲菜 組 (JDSF-GDチャンピオン)



山本 武志・木嶋 友美 組 (JDSF-PDチャンピオン)



富山県30周年参加者一同

おめでとうございます!

文部科学大臣表彰及び公益財団法人日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者表彰

★文部科学大臣表彰

スポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体を文部科学省大臣が表彰するものです。

令和5年度 生涯スポーツ優良団体表彰



特定非営利活動法人
富山県ダンススポーツ
連盟(代表者:高田 順一)



令和5年度 生涯スポーツ功労者表彰



黒田成則 特定非営利
活動法人富山県ダンス
スポーツ連盟副会長

受賞の挨拶。後ろは笹山理事長ご夫妻

★公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPPO) 公認スポーツ指導者表彰

永年にわたりスポーツの指導者育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められた指導者のうち特に顕著な功績があった指導者149名が受賞。JDSFからはダンススポーツコーチとして7名が受賞され、鴻巣正巳茨城県ダンススポーツ連盟理事が表彰式に出席されました。

《JDSFからの受賞者》

- 笹山 治一(富山県ダンススポーツ連盟)
- 小野 武伸(栃木県ダンススポーツ連盟)
- 井上 朝子(鹿児島県ダンススポーツ連盟)
- 吉原眞智子(鹿児島県ダンススポーツ連盟)
- 林 映子(宮城県ダンススポーツ連盟)
- 熊谷 正子(福島県ダンススポーツ連盟)
- 鴻巣 正巳(茨城県ダンススポーツ連盟)

「2023年11月23日、公認スポーツ指導者の表彰式に参加して来ました。対面での表彰式は抽選で6名ということで、ダメ元で申し込みましたところ、内定を頂き、本当に驚きました。当日はジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア(JOC及びJSPPOの本部ビル)の岸清一メモリアルルーム・14階大会議室に赴き、遠藤利明日本スポーツ協会会長から表彰の盾をいただきました。JDSFから推薦を受け、感謝申し上げます。これからもスポーツ指導者として精進していくつもりです」(鴻巣正巳)





～ねんりんを重ねた笑顔 伊予に咲く～

第35回全国健康福祉祭えひめ大会 ねんりんピック愛媛ダンススポーツ交流大会

2023年10月29日(日) / 今治市営中央体育館

主催：厚生労働省、愛媛県、今治市、他 共催：スポーツ庁 主管：愛媛県ダンススポーツ連盟

「ねんりんピック」とは、60歳以上の方々をメインとしたスポーツ、文化、健康と福祉の総合的祭典である「全国健康福祉祭」の愛称です。厚生省の創立50周年にあたる昭和63（1988）年から開催されています。ねんりんピックはスポーツや文化種目の交流大会や健康・福祉に関する様々なイベントを通じて、地域や世代を超えた交流の輪を広げ、ふれあいと活力ある長寿社会の形成を目的としています。

「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛媛のえひめ2023）」は、10月28日から31日まで愛媛県内全20市町で29種目が開催され、ダンススポーツは今治市で開催されました。個人戦はワルツ、タンゴ、チャチャ、ルンバの4種目に延べ721組が出場。団体戦は、

北は秋田県、岩手県から沖縄県まで53の都府県や市のチームが出場しました。個人戦4種目中3種目に優勝した北九州チームが団体戦も優勝を飾りました。

徳永繁樹今治市長は、歓迎の辞と共に、「今治市は『ずっと住み続けたい心地好いまち』の実現を目指しています。しまなみ海道の観光ソルフードの焼き鳥など楽しんでいただきたい」。木村文広市議会議員は、「大会を通じて交流を深め、良い思い出を作ってお帰りください」と話されました。



越智米明 愛媛県ダンススポーツ連盟会長(競技実行員長)



高齢者表彰の皆さん。右端は徳永繁樹今治市長、左端は木村文広市議会議員



女性最高齢の森田玲子さんと高齢者表彰を受けた日高達一さん(愛媛県)

最高齢者表彰

最高齢者賞(男女1名)

性別	氏名	都道府県・政令指定都市名	生年月日	年齢
男	尾原道與理	岡山県	S6.7.19	92歳
女	森田玲子	愛媛県	S11.8.27	87歳



尾原道與理さん淑子さんご夫妻

高齢者賞(男女3名づつ)

性別	氏名	都道府県・政令指定都市名	生年月日	年齢
男	日高達一	愛媛県	S7.5.10	91歳
	立岡孝三	大阪府	S8.11.24	90歳
	石橋 弘	広島市	S10.3.21	89歳
女	田邊キソ	新潟市	S12.3.29	87歳
	石橋サワ子	広島市	S12.4.23	86歳
	立岡晴子	大阪府	S13.1.11	86歳



山口公一・田中信子組(愛媛県)の選手宣誓

男女を通じて最高齢者は岡山県の男性・尾原道與理さん(92歳)。尾原さんは長年に渡り岡山県ダンススポーツ連盟の会長・名誉会長を務め、奥様の淑子さんと共にダンススポーツの踊り方のテキストと言われる2014年初版のWDSF「ダンススポーツ教本：World DanceSport Federation」の翻訳・編集の一員としても多大な貢献をされています。

個人戦



ワルツ第3位
堤 憲治郎・堤 薫 組(福岡県)



ワルツ準優勝・タンゴ3位
古澤 誠・緑谷 朱三江 組(愛知県)



ワルツ・タンゴ
優勝

ワルツ・タンゴ優勝
甲斐 他美夫・甲斐 幸子 組(北九州市)



タンゴ準優勝
千葉 英明・千葉 順子 組(岩手県)



ワルツ表彰式



タンゴ表彰式



チャチャチャ
優勝

チャチャチャ優勝・ルンバ準優勝
長嶋 宏行・長嶋 美由紀 組(神奈川県)



チャチャチャ第3位
常富 篤美・常富 法子 組(名古屋)



ルンバ第3位
唐木 俊彦・唐木 ユミ 組(長野県)



ルンバ
優勝

ルンバ優勝・チャチャチャ準優勝
藤重 哲哉・藤重 恵子 組(北九州市)



チャチャチャ表彰式



ルンバ表彰式

特別模範演舞
(全日本チャンピオンによる
デモンストレーションダンス)



山本 武志・木嶋 友美 組



大西 大晶・大西 咲菜 組

団体戦

優勝



準優勝 東京都Aチーム



優勝 北九州市チーム



第3位 静岡県チーム



来年の開催県、鳥取県DS連盟の前田博会長と鳥取県チーム



地元愛媛県チームの皆さん

歓迎アトラクション



〈愛媛県立今治西高等学校 郷土芸能部〉
藤堂高虎による今治城と城下町を築く時の作業開始の合図である「先づれ太鼓」を起源とする寿太鼓より、しまなみ海道の自然あふれる島と海を表現した演目「海の豊饒」が開始式で披露されました。



Let's Dance with Our Jazz!!
今治市は、造船とタオル、そしてジャズの町。写真は休憩時間に演奏された栗田敬子ジャズトリオ



競技のお手伝い。
今治市立日吉中学校の皆さん

ねりんピックに相応しい特別コーナーも開設



ドリンクコーナー



健康づくりコーナー



ケアコーナー



eスポーツ体験会



おもてなしコーナー（今治市長直々ご指示の美味しい鍋・水軍鍋が振舞われました）



環境を守る スポーツを守る 未来を守る TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに!



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

ダンス・ダンス・ダンス
第110号 (Winter)

令和6年2月発行

- 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟副会長)
- 編集長 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報相談役)
- 編集長 / 奥水洋一 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階
<https://www.jdsf.or.jp>

TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。